

土木学会誌編集委員

委員長	増岡 康治						
委員	浅沼 亮	岡田 哲夫*	小笹 太郎	尾仲 章	北田 勇輔	国広 安彦	堺 幸七
	渋谷 祥夫	高橋 裕	土居 則夫	富永 正照	縄田 照美	仁木 理夫	西 敏賢
	服部昌太郎*	前田 進	町田富士夫	松本 嘉司	丸山 達夫	宮田 浩暹	本山 壽
	森野 敏夫	横山 義一	吉田 正吾	米田 宗弘	和田 万里		
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中四支部)	(西部支部)
	河野 文弘	岩崎 敏夫	進藤 忠夫	加藤 晃	谷本 喜一	川上 賢司	徳光 善治
	渡辺 昇	倉西 茂	中山 隆	細井 正延	山田 善一	船越 稔	沼田 耕一

* 印は幹事



橋梁も河川に架設されていた頃はさして支間の長いものもなかったが、海を横断するようになってくると、続々とかなり長大なものがわが国でも誕生しはじめるようになった。本土主要部と海により隔絶され、TV によつてのみ文化的に結ばれていた地が橋により実質的に結合され国民が等しくあらゆる恩恵を受けられるようになることは大変喜ばしいことであり、実際面に従事する土木屋の楽しみの一つでもあろう。こういった意味で今月の座談会

は、今注目を浴びている天草架橋が人々のどのような考えで、どのような段階を経て建設されてきたかを知るには興味深いものであろう。

今月の報告は、設計計算例、実験といったものになったが、会員諸君が、何を見、何を考へて仕事をしたかという工事記録的なものもどんでん投稿して戴きたいものである。会誌が会員間の意見の交流の場として発展する上にも最近とみに増えた学生会員の啓発するためにもぜひお願いしたいものである。

【倉西 茂・記】

会員の入退会について(昭和 41.8.1~8.31)

入	会	68 名	(正 59 学 8 特 2 1)
復	活	2 名	(正)
退	会	13 名	(正 13 特 1.D 1)
死	亡	2 名	(正)
転	格	4 名	学→正 4

特別会員の入退会

○入	会	昭和 41.8.17	特 2	大阪大学基礎工学部	豊中市北刀根山字北谷
○退	会	昭和 41.8.29	特 1.D	北海道建設機械販売KK	札幌市白石町中央 510

会員現在数(昭和 41.8.31 現在)

名誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	合計	(増)
61	18 645	3 902	30	19	16	49	202	319	52	23 295	(55)

正会員	渡辺市太郎君	復興建設技術協会中部支部常務理事	昭 41.5.14	死去	72 才
	山根清君	日本鉄道建設公団本社	昭 41.8.9	"	49 才

昭和 41 年 10 月 10 日印刷

昭和 41 年 10 月 15 日発行

土木学会誌 第 51 巻 第 10 号

印刷者 大沼正吉印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂 1-3-6

口絵製版印刷者 若林孟夫口絵写真印刷所 若林原色写真工芸社

東京都港区芝金杉川口町 20 番地

発行者 羽田巖発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 250 円(送料 20 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351)5130 (編集直通)・5138・5139 番